

政策シート

(政策名) 環境に配慮した暮らしの定着と自然と共生するまちづくり
(予算費目名) 環境政策推進費

(総合計画体系)

「分野」	環境・エネルギー
30年後の姿	豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

・第2次環境基本計画等に基づき、環境と共生する持続可能な社会の形成に向けた環境施策を推進する。
 ・低炭素社会の実現を目指し、温室効果ガスの発生抑制、温暖化防止に資するライフスタイル・ビジネススタイルの定着を図る。
 ・自然共生社会の形成に向けて、本市の自然的社会的特性を踏まえ、生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた取り組みを、市民や事業者などと協働して進める。
 ・すべての年代の人が日常生活の中で自らの問題として環境の保全に取り組むきっかけをつくり、生涯にわたる環境教育を目指す。

◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑬気候変動	⑭海洋資源	⑮陸上資源	⑰実施手段
-----	-------	-------	-------	-------	-------

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	107,967	207,423				
決算	99,042					
人件費(A)	107,200	107,200				
報酬(B)	411	1,730				
年間経費(予算又は決算+A+B)	206,653	316,353				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市有施設の電気使用量	MWh	目標	124,743	123,495				—
		実績	R2.8頃確定					
「Eスイッチプログラム」受講者数	人	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績	9,013					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

・第2次環境基本計画等に基づき、環境と共生する持続可能な社会の形成に向けた環境施策を推進する。
 ・低炭素社会の実現を目指し、温室効果ガスの発生抑制、温暖化防止に資するライフスタイル・ビジネススタイルの定着を図る。
 ・自然共生社会の形成に向けて、本市の自然的社会的特性を踏まえ、生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた取り組みを、市民や事業者などと協働して進める。
 ・すべての年代の人が日常生活の中で自らの問題として環境の保全に取り組むきっかけをつくり、生涯にわたる環境教育を目指す。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
------	------

・浜松市環境影響評価条例等に基づき事業者から提出された図書の手続を行うとともに、環境の保全の見地からの市長意見を事業者等に送付するなど本市の環境特性を踏まえた環境影響評価制度の運用を図った。
 ・浜松市地球温暖化防止活動推進センターとともに、地球温暖化対策としてクールチョイスなど普及啓発等を行い、市域における温室効果ガス排出量削減の取り組みを推進した。
 ・市民・事業者等と連携し、「生物多様性はままつ戦略」の重点プロジェクトに取り組んだ。
 ・市内の幼稚園小学校等において、Eスイッチプログラム(環境学習プログラム)を活用し環境学習を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	環境影響評価事業					11,056	1,402	1.2				1,254
2	地球環境保全貢献事業	○	○	○		175,810	141,410	4.4	1.0			
3	環境と共生するまちづくり事業					21,750	6,770	2.1			0.1	
4	環境教育推進事業			○		14,163	1,843	1.4			0.9	
5	生物多様性保全事業	○	○			66,551	53,251	1.9				
6	環境政策推進運営経費(一般諸経費のみ)					27,023	2,747	3.0			1.0	476
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						316,353	207,423	14.0	1.0		2.0	1,730

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 環境影響評価事業

◇事業目的・事業対象

環境の保全及び創造を図るため、環境と調和のとれた土地利用を図る。

◇事業の概要

○浜松市環境影響評価条例等の運用

・条例等に基づき、対象事業に係る手続において、事業者から送付された図書の公告・縦覧・公表を行い、環境保全の見地からの市長意見を作成し、事業者等に送付する。

○環境配慮指針の運用

・一定規模以上の各種開発事業に対して、事業者が取り組むべき環境配慮事項を示した「環境配慮指針」を運用する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	—	一般会計	自治事務(その他)	環境影響評価法・浜松市環境影響評価条例	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	792	1,402				
	決算	433					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	433	1,402				
人件費(報酬等) (千円)		215	1,254				
人件費 (千円)		8,960	8,400				
人工	正規	1.2	1.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	○ 13.1
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	○ 14.2
⑥水・衛生	○ 6.6	⑮陸上資源	○ 15.1、15.2、15.5
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

水、大気、生物等の環境に対する影響に配慮し、回避・低減することによって持続可能な開発を行う。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○浜松市環境影響評価条例等の運用

・条例等に基づき、対象事業に係る手続において、事業者から送付された図書の公告・縦覧・公表を行い、環境保全の見地からの市長意見を作成し、事業者等に送付する。

○環境配慮指針の運用

・一定規模以上の各種開発事業に対して、事業者が取り組むべき環境配慮事項を示した「環境配慮指針」を運用する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・浜松市環境影響評価条例等に基づき事業者から提出された図書について、公告・縦覧・公表など手続を行うとともに、市長意見を作成するため浜松市環境影響評価審査会を3回開催した。
 ・条例対象事業2件、法対象事業2件に対して、環境の保全の見地からの市長意見を事業者等に送付し、環境配慮を求めるなど本市の環境特性を踏まえた環境影響評価制度の運用を図った。
 ・環境に影響を及ぼすおそれのある各種開発事業を実施する際に、事業者が取り組むべき環境配慮事項を示した「環境配慮指針」を運用し、公共事業5件、民間事業81件に対して、指導・助言を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・他都市の審査会の運営状況など積極的に情報収集を行い、議事進行など本市審査会の運営に反映した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・浜松市環境影響評価条例や環境配慮指針について、適正な運用に努めていくとともに、複数案件を同日に審議するなど効率的な審査会運営を行う。

事業シート (事業名) 地球環境保全貢献事業

◇事業目的・事業対象

温室効果ガス排出量を最小限に抑えるため、市民、事業者と一体となって省エネルギー活動を推進する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.138、139、143】

○省エネルギー推進事業

- ・浜松市役所温暖化対策マネジメントシステムに基づき、市役所各施設の取組状況を確認する。
- ・省エネ法及び温対法に基づき報告資料を作成し、国へ提出する。
- ・各施設のエネルギー管理標準の整備を進めるとともに、省エネパトロール(省エネ指導)を実施する。
- ・市有施設の省エネルギー化を図るため、照明のLED化、空調機インバータ設置等の改修を行う。

○地球温暖化対策事業

- ・浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づき、市域への温暖化対策の普及啓発に努める。
- ・市民への温暖化対策に関する普及啓発のため、浜松市地球温暖化防止活動推進センターとともに、省エネネットワークやウェブサイト等による情報発信、省エネ推進イベント、セミナー等を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H12	—	一般会計	自治事務(その他)	地球温暖化対策の推進に関する法律・エネルギーの使用の合理化等に関する法律・気候変動適応法	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	86,274	141,410				
	決算	79,139					
	国・県支出						
	市債						
	その他	18,028	9,539				
	一般財源	61,111	131,871				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		34,400	34,400				
人工	正規	4.4	4.4				
	再任用(h31)	1.0	1.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.2,13.3
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

気候変動対策の推進に関し、緩和については、国の「地球温暖化対策計画(平成28年5月閣議決定)」や「浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)及び(事務事業編)」に基づき、市民への地球温暖化対策の取り組み推進や、市有施設における温室効果ガス排出量の削減を図る。また、適応については、国の「気候変動適応計画(平成30年11月閣議決定)」に基づき、各方面から情報収集するとともに、市民や当市事務事業において関連する部署への情報提供を行う。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市域からの温室効果ガス排出量(Kt)					-	Ⅲ-5(2)ウ	—
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	5425	5351	5277	5203	5129	5055	4981
実績値	R3.4頃	R4.4頃					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市有施設の電気使用量(MWh) ※R2見直し予定					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	126,003	124,743	123,495		—		—
実績値	124,902	R2.8頃					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
国民運動クールチョイスへの個人賛同数(H28~累計)(人)、浜西市収集分					-		138
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	9,500	10,500	11,500	12,500	13,500	14,500
実績値	7,354	9,521					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
気候変動に対応した適応策の認知度(%)							139
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	28.4	34.9	41.4	47.9	54.4	60.9
実績値	21.9	30.5					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市有施設における旧型蛍光灯(年間点灯時間2,000時間以上)のLED化率(%)							143
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	4.3	20.3	36.2	52.2	68.1	84.1
実績値	—	4.6					

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.138、139、143】

○省エネルギー計画等企画推進事業

- ・浜松市役所温暖化対策マネジメントシステムに基づき、市役所各施設の取組状況を確認する。
- ・省エネ法及び温対法に基づき報告資料を作成し、国へ提出する。
- ・各施設のエネルギー管理標準の整備を進めるとともに、省エネパトロール(省エネ指導)を実施する。

○省エネルギー改修推進事業

- ・市有施設の省エネルギー化を図るため、照明のLED化、空調機インバータ設置等の改修を行う。

○地球温暖化対策事業

- ・浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づき、市域への温暖化対策の普及啓発に努める。
- ・市民への温暖化対策に関する普及啓発のため、浜松市地球温暖化防止活動推進センターとともに、省エネネットワークやウェブサイト等による情報発信、省エネ推進イベント、セミナー等を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・国の温暖化対策計画や市実行計画(区域施策編)に準じ、市有施設の更なる省エネルギー化の推進を図るため、「浜松市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」の改定に向けた検討を行った。
- ・施設の省エネを図るため、22施設の旧型蛍光灯をLEDに交換し、また、2施設で省エネ改修を実施した。
- ・事業の指標である「市域からの温室効果ガス排出量(Kt)」は令和4年、「市役所のエネルギー使用量(KL)」及び「市有施設の電気使用量(MWh)」は、令和2年7月に算定予定のため、現時点での達成度は不明である。
- ・市センターと連携して、省エネフェア、市民向けミニイベント24回、協働センターまつり等へのブース出展5回、小学生親子見学会を開催し、市民への温暖化対策の普及啓発に取組んだ。また、クールチョイスの普及啓発では、市の関連イベントのほか、地域の公共交通事業者や家電販売店と連携するなどし、個人2,167人及び22団体から賛同を集めた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・本市の地域課題である運輸部門における二酸化炭素排出量の削減、および国民運動である「COOL CHOICE (クールチョイス)」を市民に広く普及させるため、国の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し、地域の公共交通事業者と連携して、イベント開催やポスター、ガイドブック、車体広告等による啓発を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・国の地球温暖化対策計画や浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)改定版に基づき、市域内における温室効果ガス排出抑制対策に取り組む。
・市役所の事務事業から排出される温室効果ガスの削減のため、浜松市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の改定作業を行う。
・市有施設の点灯時間の長い旧型蛍光灯約3万台について、令和7年度までにLED照明に切り替える。

補助シート (事業名) 地球環境保全貢献事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
138	・国民運動クールチョイスの普及啓発	・国民運動クールチョイスの普及啓発	・国民運動クールチョイスの普及啓発	・国民運動クールチョイスの普及啓発
139	・庁内各部局及び市民への適応策の取組推進	・庁内各部局及び市民への適応策の取組推進	・庁内各部局及び市民への適応策の取組推進	・庁内各部局及び市民への適応策の取組推進
143	・旧型蛍光灯のLED化	・旧型蛍光灯のLED化	・旧型蛍光灯のLED化	・旧型蛍光灯のLED化

事業シート (事業名) 環境と共生するまちづくり事業

◇事業目的・事業対象

市民、市民団体、NPO、事業者等と協働して、豊かな自然環境と共生するまちづくりを推進する。

◇事業の概要

○川や湖の保全事業

・「川や湖を守る条例」に基づき、保全活動団体との協働により環境共生区域の巡視等を行い、水環境保全のための市民意識の向上や環境保全活動の促進を図る。

・市民、事業者等の参加により、遠州灘海岸、浜名湖岸の環境美化活動を行う。

・海洋プラスチック問題について、プラスチックの適正な利用と処理を市民へ周知啓発するため、イベントやパネル展示等で情報発信する。

○市民マナー条例啓発事業

・「快適で良好な生活環境を確保する条例(市民マナー条例)」の市民への更なる浸透を目指して、啓発ポスターの掲示、路面告知シートの設置など周知啓発を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S40	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市川や湖を守る条例・浜松市快適で良好な生活環境を確保する条例	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	2,501	6,770				
	決算	2,242					
	国・県支出	260	3,332				
	市債						
	その他	1,000	2,000				
	一般財源	982	1,438				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		14,980	14,980				
人工	正規	2.1	2.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.1
⑥ 水・衛生	○ 6.6,6.b	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

水環境保全の市民意識向上や協働による環境保全活動の促進により、水と海洋の環境を保全する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
環境共生区域内での水環境汚濁行為者の数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0	0	0	0	0	0
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
歩行喫煙率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	-	0.075	0.075	0.075	0.075	0.075	0.075
実績値	非調査年度	非調査年度					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○川や湖の保全事業
 ・「川や湖を守る条例」に基づき、保全活動団体との協働により環境共生区域の巡視等を行い、水環境保全のための市民意識の向上や環境保全活動の促進を図った。
 ・市民、事業者等の参加により、遠州灘海岸、浜名湖岸の環境美化活動(ウェルカメクリーン作戦、浜名湖クリーン作戦)を行った。
 ○市民マナー条例啓発事業
 ・「市民マナー条例」の市民への更なる浸透を目指して、啓発ポスターの掲示、各区イベントや大学等での啓発品の配布など周知啓発を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

 ・「川や湖を守る条例」について夏季のレジャー利用者へ周知啓発を行い、巡視時における違反行為者は0であった。
 ・ウェルカメクリーン作戦には3,526人、60団体、浜名湖クリーン作戦には15,217人、207団体と多くの市民、事業者等の参加により遠州灘海岸及び浜名湖岸の環境保全活動を実施した。
 ・「市民マナー条例」について、利用者の多い鉄道駅やバス・電車内へのポスター掲出や各区イベント・大学等で啓発品の配布を行い、周知啓発した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・「市民マナー条例」のポスター掲出について、掲出期間を公共交通機関の利用者増が見込まれるイベント(ラグビーワールドカップ)の期間とし、宣伝効果の向上を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・今後も継続して「市民マナー条例」や「川や湖を守る条例」の周知啓発を図る。
・健康増進法の改正により、受動喫煙の観点から屋外の喫煙に配慮が求められるようになったことから、健康福祉部門と情報共有し、路上喫煙対策を検討する。

事業シート (事業名) 環境教育推進事業

◇事業目的・事業対象

環境負荷の少ない持続可能な社会を市民、事業者と協働して実現するため、「環境活動を実践する人づくり」を推進する。

◇事業の概要

・学校教育や地域の学習会において、地域特性を活かし、「体験・気づき」を重視した浜松版環境学習プログラム「Eスイッチプログラム」を実践する。

・「持続可能な開発のための教育(ESD)」の考え方を取り入れ、「考える・学び合う・行動を変革する」力を引き出すESDモデルプログラムについて、支援・普及啓発を行う。

・環境に関する知識や経験を有し、環境教育に対して熱意あふれる人材を学習指導者として登録し、環境学習会へ派遣する。また、人材育成を図るため環境学習指導者フォローアップ(養成)講座を開催する。
・市民、市民団体、学校、行政機関等が連携・協働して環境教育に関する取組や情報共有を行うため、環境教育推進ネットワーク「はままつEスイッチ」を活用し、市民向けイベント「Eスイッチフェス」等を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H10	—	一般会計	自治事務(その他)	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律	—	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	3,549	1,843				
	決算	3,406					
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,700					
人件費(報酬等)(千円)	一般財源	1,706	1,843				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		12,320	12,320				
人工	正規	1.4	1.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.9	0.9				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

環境学習を通じて、持続可能な開発、ライフスタイルを促進するために必要な知識や技能を習得する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
環境学習指導者養成講座による人材育成人数(H26～累計)(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	55	60	70	80	90	95	100
実績値	56	69					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
「Eスイッチプログラム」受講者数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	9600	10000	10000	10000	10000	10000	10000
実績値	8358	9013					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
ESDモデルプログラム実施箇所数(箇所)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	2	3	3	4	4	5	5
実績値	3	4					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・学校教育や地域の学習会において、地域特性を活かし、「体験・気づき」を重視した浜松版環境学習プログラム「Eスイッチプログラム」を実践した。
- ・「持続可能な開発のための教育(ESD)」の考え方を取り入れ、「考える・学び合う・行動を変革する」力を引き出すESDモデルプログラムを市内の小中学校で展開した。
- ・環境に関する知識や経験を有し、環境教育に対して熱意あふれる人材を学習指導者として登録し、環境学習会へ派遣する。また、新たな人材育成を図るため環境学習指導者養成講座を開催した。
- ・市民、市民団体、学校、行政機関等が連携・協働して環境教育に関する取組や情報共有を行うため、環境教育推進ネットワーク「はままつEスイッチ」を活用し、市民向けイベント等を開催した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・保育園・幼稚園・小中学校を対象とした移動環境教室の実施数は、56園52校で、延べ14,246人が受講した。
- ・「Eスイッチプログラム」の受講者数は9,013人であり、目標値の10,000人には届かなかった。
- ・環境学習指導者養成講座は14人が受講し、13人が修了した。
- ・環境教育イベントでは、世界的に問題となっている海洋プラスチックごみ問題をテーマとした環境劇を上演し、674人が来場した。
- ・希少な動植物が生息する里地里山の機能について学ぶESDプログラム「田んぼがつなぐ人と自然」を作成した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・移動環境教室では、新たな学習プログラムの追加や講師派遣を増やすことで、より多くの要望に応えることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・環境に対する関心を高めるには幼少時からの教育が必要であるため、引き続き移動環境教室の充実を図る。
・環境学習指導者養成講座について開催方法を見直し、環境活動に結びついていない修了生を対象とした講座を開催する。

事業シート (事業名) 生物多様性保全事業

◇事業目的・事業対象

「生物多様性はままつ戦略」に基づき、市域内の豊かな自然環境の保全・創造や、生息・生育する多様な動植物の保全に努める。

◇事業の概要

○「生物多様性はままつ戦略」に基づく取組の推進
 ・市の行動計画に登載した39事業を担当部局と連携して推進するとともに、7つの指標に基づき進捗管理を行う。
 ○動植物モニタリング調査
 ・市域の生物多様性の状況を把握するため、21のモニタリング指標について動植物調査を継続的に実施する。
 【R1-R4重点戦略項目No.134】
 ○希少動植物の保護
 ・静岡県指定希少野生動植物に指定されているヤリタナゴについて、継続的なモニタリング調査を行い生息状況を把握するとともに、生息域以外での保全を行う。
 【R1-R4重点戦略項目No.135】
 ○外来生物対策
 ・外来生物の問題について、対策の必要性や適正な取扱、拡散防止等に関する市民への周知啓発を行うとともに、市民生活への被害や生態系への悪影響が懸念される特定外来生物の防除を市民協働で行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H12	—	一般会計	自治事務(その他)	生物多様性基本法・浜松市ギフチョウの保護に関する条例・特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に係る法律	—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	12,729	53,251				
	決算	12,333					
	国・県支出	65	23,587				
	市債						
	その他	5,880	20,238				
	一般財源	6,388	9,426				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		13,300	13,300				
人工	正規	1.9	1.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.2
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	○ 15.5, 15.8
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

希少動植物の保護や外来生物対策により生態系の向上に取り組み、生物多様性を保全する。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
「生物多様性はままつ戦略」「生物多様性」の理解度(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	32	36	42	50	60	60	60
実績値	23	14.1					
ヤリタナゴ生息数(匹)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	64	64	64	64	64	64
実績値	64	61					
クリハラリス生息数(頭)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	18,000	14,000	9,500	5,500	3,000	1,500
実績値	15,000	18,000					
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○「生物多様性はままつ戦略」に基づく取組の推進
 ・市の行動計画掲載事業を担当部局と連携して推進するとともに、重点プロジェクトを推進した。
【R1-R4重点戦略項目No.134】
 ○希少動植物の保護
 ・「ギフチョウの保護に関する条例」に基づき、渋川自然環境保全地域内のギフチョウ及びその食草のヒメカンアオイの採取等を禁止し、保護監視員による巡視・観察を行った。
【R1-R4重点戦略項目No.135】
 ○外来生物対策
 ・外来生物の問題について、対策の必要性や適正な取扱、拡散防止等に関する市民への周知啓発を行うとともに、市民生活への被害や生態系への悪影響が懸念される特定外来生物の防除を行った。
 ○動植物モニタリング調査
 ・市域の生物多様性の状況を把握・蓄積するため、概ね5年の周期で21のモニタリング指標について動植物調査を継続的に実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度
 計画通り

・「生物多様性はままつ戦略」の行動計画に掲載した39事業を担当部局と連携して推進した。
 ・戦略の重点プロジェクトを推進し、市民との連携・協働による観察マップの作成、外来生物対策を実施した。また、生きものパートナーシップ協定の第1号を締結した。
 ・「ギフチョウの保護に関する条例」に基づき保護監視員の巡視を行ったが、条例違反者はいなかった。
 ・防除実施計画に基づきアライグマの防除を行い、7頭捕獲駆除した。
 ・防除実施計画に基づきクリハラリスの試験捕獲(市民協働)を実施するとともに、捕獲計画を策定し、次年度からの事業の準備を進めた。
 ・市域の生物多様性の状況を把握・蓄積するため、指標種のモニタリング調査を行った。県指定希少野生動植物に指定されているヤリタナゴについては、効果的な保護事業を検討しているため毎年調査を実施する。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 一部委託 事業費 拡大 人工 現状

- ・生物多様性はままつ戦略に基づき、市民・事業者と協働した動植物調査や環境保全活動を行った。
- ・特定外来生物クリハラリスについての試験捕獲と生息状況調査を行い、その結果をもとに効果的かつ効率的な駆除を行うための捕獲プランを策定した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 一部委託 事業費 拡大 人工 現状

- ・生物多様性はままつ戦略に基づき、市民・事業者と協働した動植物調査や環境保全活動を行う。
- ・特定外来生物クリハラリスについては、市民と協働することによって効果的な防除を行い、生息域の拡大を防ぐとともに個体総数の低減を図るため、捕獲プランに基づく防除を実施する。

補助シート (事業名) 生物多様性保全事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
134	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性保全の重要性、希少生物保護対策等に関する市民への周知啓発 ・ヤリタナゴのモニタリング調査の実施 ・ヤリタナゴの生息域外保全の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性保全の重要性、希少生物保護対策等に関する市民への周知啓発 ・ヤリタナゴのモニタリング調査の実施 ・ヤリタナゴの生息域外保全の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性保全の重要性、希少生物保護対策等に関する市民への周知啓発 ・ヤリタナゴのモニタリング調査の実施 ・ヤリタナゴの生息域外保全の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性保全の重要性、希少生物保護対策等に関する市民への周知啓発 ・ヤリタナゴのモニタリング調査の実施 ・ヤリタナゴの生息域外保全の実施
135	<ul style="list-style-type: none"> ・外来生物対策の必要性、拡散防止等に関する市民への周知啓発 ・クリハラリス捕獲従事者講習会の開催 ・捕獲従事者による防除の実施 ・クリハラリス捕獲プランの策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来生物対策の必要性、拡散防止等に関する市民への周知啓発 ・クリハラリス捕獲従事者講習会の開催 ・捕獲従事者による防除の実施 ・クリハラリス捕獲プランに基づく防除の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来生物対策の必要性、拡散防止等に関する市民への周知啓発 ・クリハラリス捕獲従事者講習会の開催 ・捕獲従事者による防除の実施 ・クリハラリス捕獲プランに基づく防除の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来生物対策の必要性、拡散防止等に関する市民への周知啓発 ・クリハラリス捕獲従事者講習会の開催 ・捕獲従事者による防除の実施 ・クリハラリス捕獲プランに基づく防除の実施

事業シート (事業名) 環境政策推進運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	2,122	2,747				
	決算	1,489					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,489	2,747				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)		196	476				
人件費 (千円)		23,240	23,800				
人工	正規	3.0	3.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.8	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工